

CABLINE® V

Plug Part No.20345-#**T-##

Receptacle Part No. 20347-#**E-###

Instruction Manual

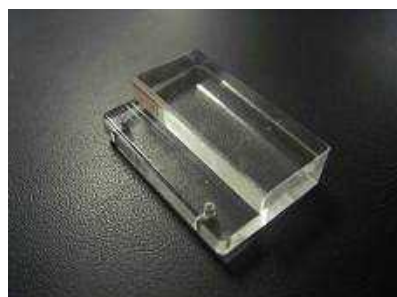
3	S23177	June 13, 2023	S.Yamaguchi	T.Tanigawa	H.Ikari
2	S18165	March 7, 2018	K.Ikeshita		T.Matsumoto
1	S13356	September 5, 2013	H.Mashima	J.Tateishi	E.Kawabe
0	S12110	March 9, 2012	H.Mashima	J.Tateishi	T.Harada
Rev.	ECN	Date	Prepared by	Checked by	Approved by

CABLINE V CONN.の取り扱いに際して、本コネクタを安全に御使用頂くことを目的とし
コネクタの挿入・抜去の手順及び注意点を記述致します。

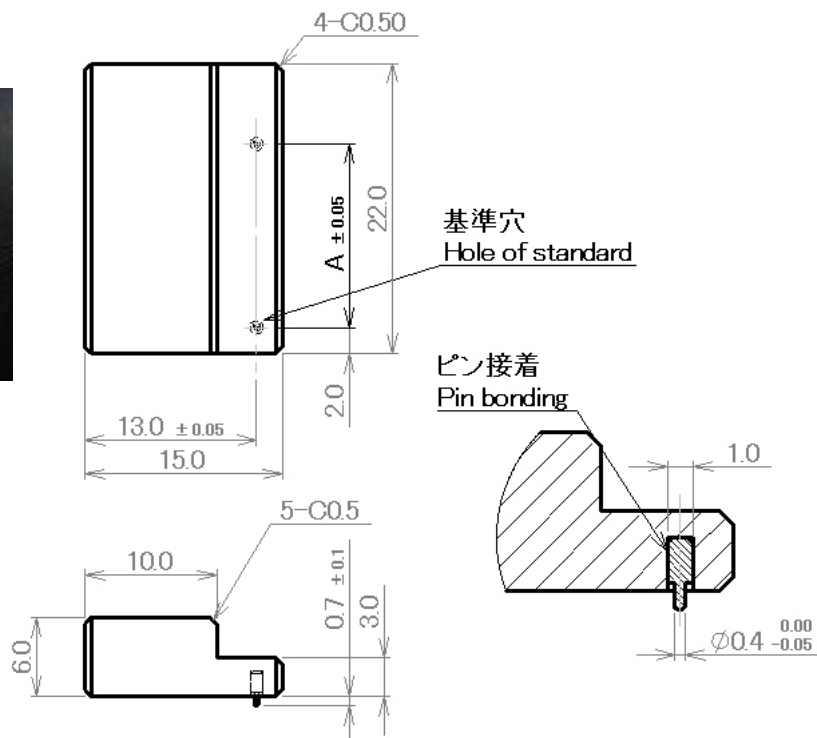
【挿抜 JIG】

挿入・抜去を行う際、ケーブルへのストレスを避ける為、下写真の様な JIG (1 例) を御使用下さい。

ケーブル側コネクタには JIG 専用の引っ掛け形状が設置されています。(下図)

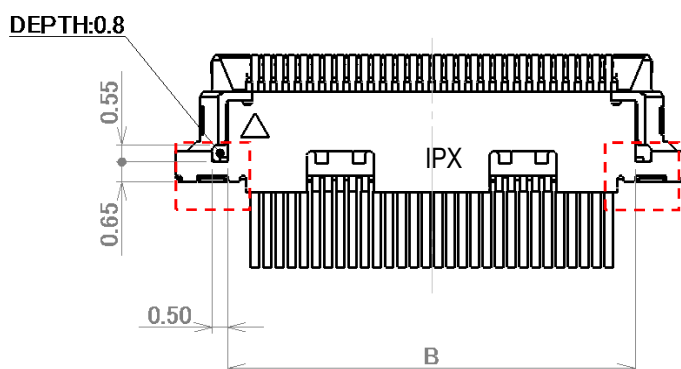


Pos.	A
10P	5.9
15P	7.9
20P	9.9
25P	11.9
30P	13.9
35P	15.9
40P	17.9



推奨 挿入・抜去 JIG

Pos.	B
10P	5.4
15P	7.4
20P	9.4
25P	11.4
30P	13.4
35P	15.4
40P	17.4



挿入・抜去 JIG 引っ掛け形状配置図

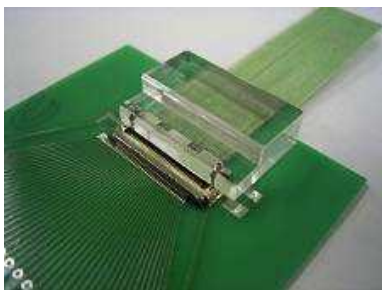
【コネクタ挿入手順】

- ① 下写真の様に基板側コネクタにケーブル側コネクタを確実に仮差しします。



仮差し状態

- ② JIG をケーブル側コネクタへセットする。



JIG セット状態

- ③ コネクタを挿入する。

水平方向

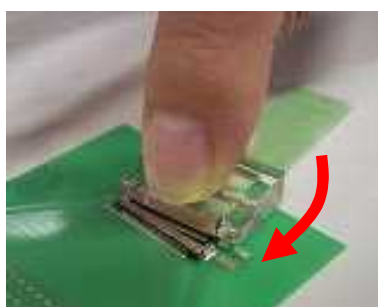
下写真の様に基板側コネクタに対しケーブル側コネクタを平行に挿入する。

①の仮差しを確実に行って頂く様御願い致します。仮差しを行うことによりこじりが低減します。

挿入方向

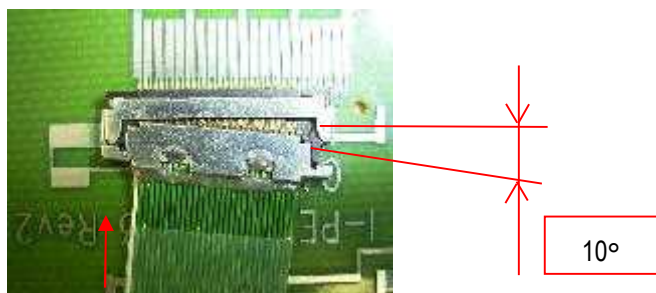


平行挿入 OK 状態



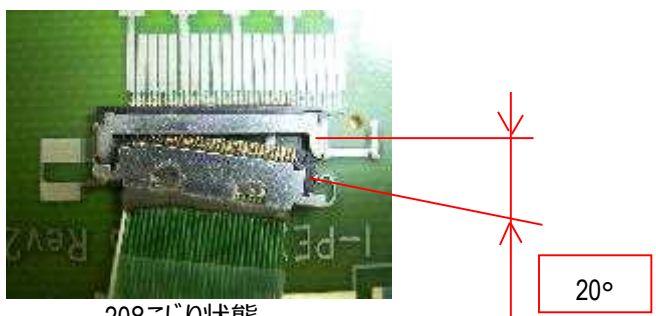
こじり挿入 NG 状態

本コネクタを安全に使用して頂く為に下写真の様にこじり角を 10° 以下でお願い致します。
仮差しの状態から片側のみを挿入した場合、下写真の様にこじり MAX. 値が 10° となります。
 10° 以下であればコネクタの変形は発生致しません。



10°こじり状態

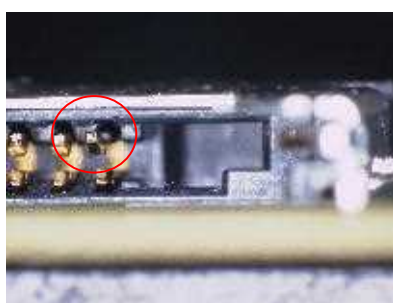
下写真の様に仮差し無しの状態で 20° 以上のこじり角で無理に挿入させた場合、
ケーブル側コネクタの樹脂部が基板側コネクタの端子を変形（下写真）させる恐れがあります。
仮差しは必ず平行に行って頂きます様、お願い致します。



20°こじり状態



基板側コネクタ端子変形

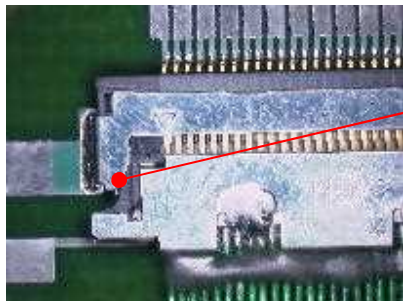


左写真拡大

垂直方向

下の写真の様に、REC. SHELL に挿入ガイドが設定されています。

ガイドに沿って挿入を御願い致します。ガイドに沿って挿入頂ければコネクタの変形は発生致しません。



ガイド：SHELL この面の裏面

本コネクタを安全に使用して頂く為にこじり角を下写真の様に 5°以下で御願い致します。

5°以下であればコネクタの変形は発生致しません。



5°

5°こじり状態

下写真の様に 10°以上のこじりが発生した場合、基板側コネクタのシェルが変形する恐れがありますので再使用時はシェル変形の状態を再確認し御使用下さい。



10°

10°こじり状態

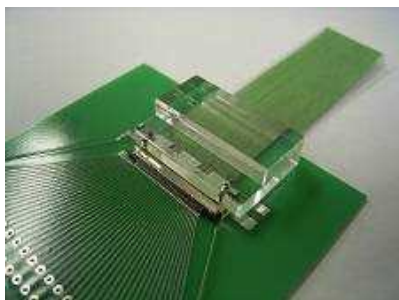


シェル変形

シェル変形

【コネクタ抜去手順】

- ① ケーブル側コネクタへ JIG をセットする。



JIG セット状態

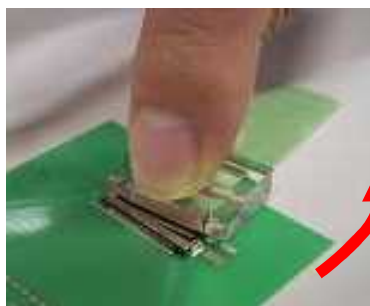
- ② コネクタを抜去する。

水平方向

写真の様に基板側コネクタに対しケーブル側コネクタを平行に抜去する。

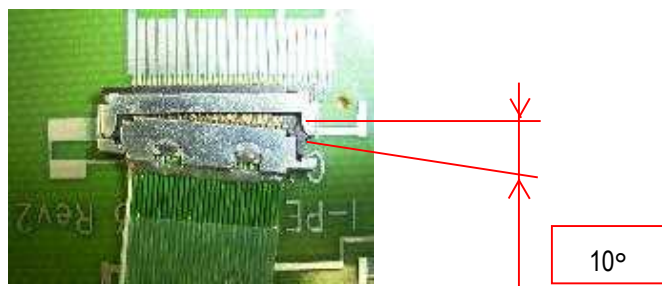


平行抜去 OK 状態



こじり抜去 NG 状態

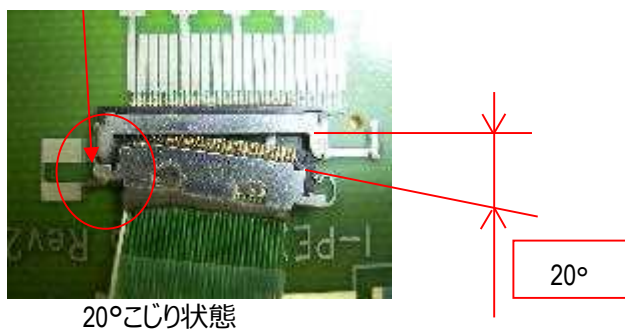
本コネクタを安全に使用して頂く為に下写真の様にこじり角を 10°以下でお願い致します。
10°以下であればコネクタの変形は発生致しません。



10°こじり状態

下写真の様にケーブル側コネクタの片側が基板側コネクタへ付いた状態で 20°以上のこじりが発生した場合、ケーブル側コネクタの樹脂部が基板側コネクタの端子を変形させる恐れがありますので基板側コネクタ及びケーブル側コネクタの状態を再確認し御使用下さい。

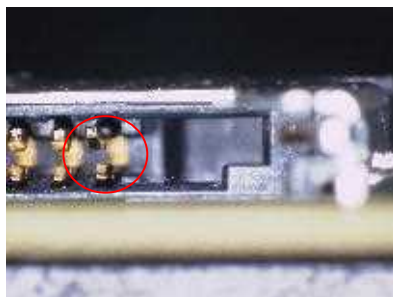
ここを軸に回転



20°こじり状態



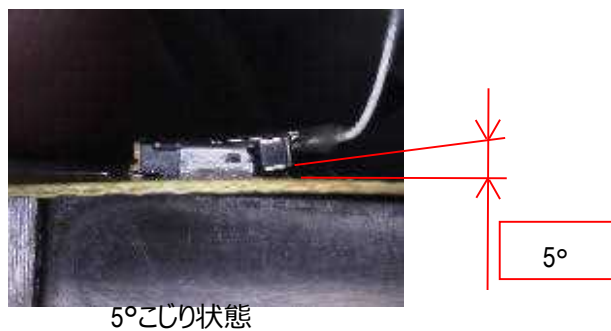
基板側コネクタ端子変形



左写真拡大

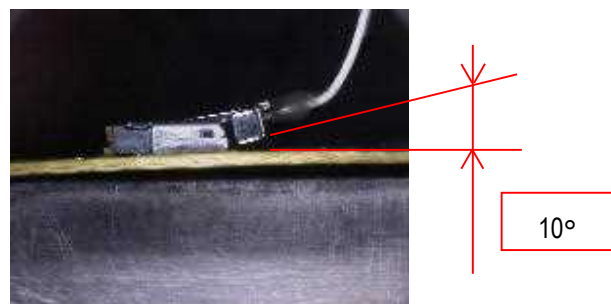
垂直方向

本コネクタを安全に使用して頂く為に下写真の様にこじり角を 5°以下でお願い致します。
5°以下であれば、コネクタの変形は発生致しません。

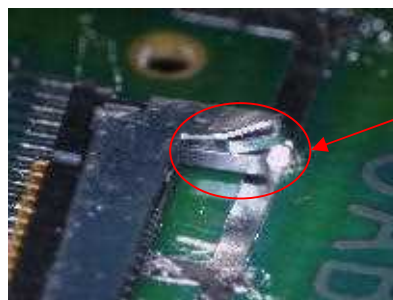


5°こじり状態

下写真の様に 10°以上のこじりが発生した場合、基板側コネクタのシェルが
変形する恐れがありますので再使用時はシェル変形の状態を再確認し御使用下さい。



10°こじり状態



シェル変形

シェル変形

※ケーブル断線の恐れが御座いますのでケーブルを手にとってのコネクタ挿抜は御控え下さい。
この様な挿抜を行いますと、ケーブルが局部的に大きな力が生じ、ケーブル芯線が切れる恐れがあります。
特に数本での斜め引張りの場合、十分御注意下さい。



NG



NG